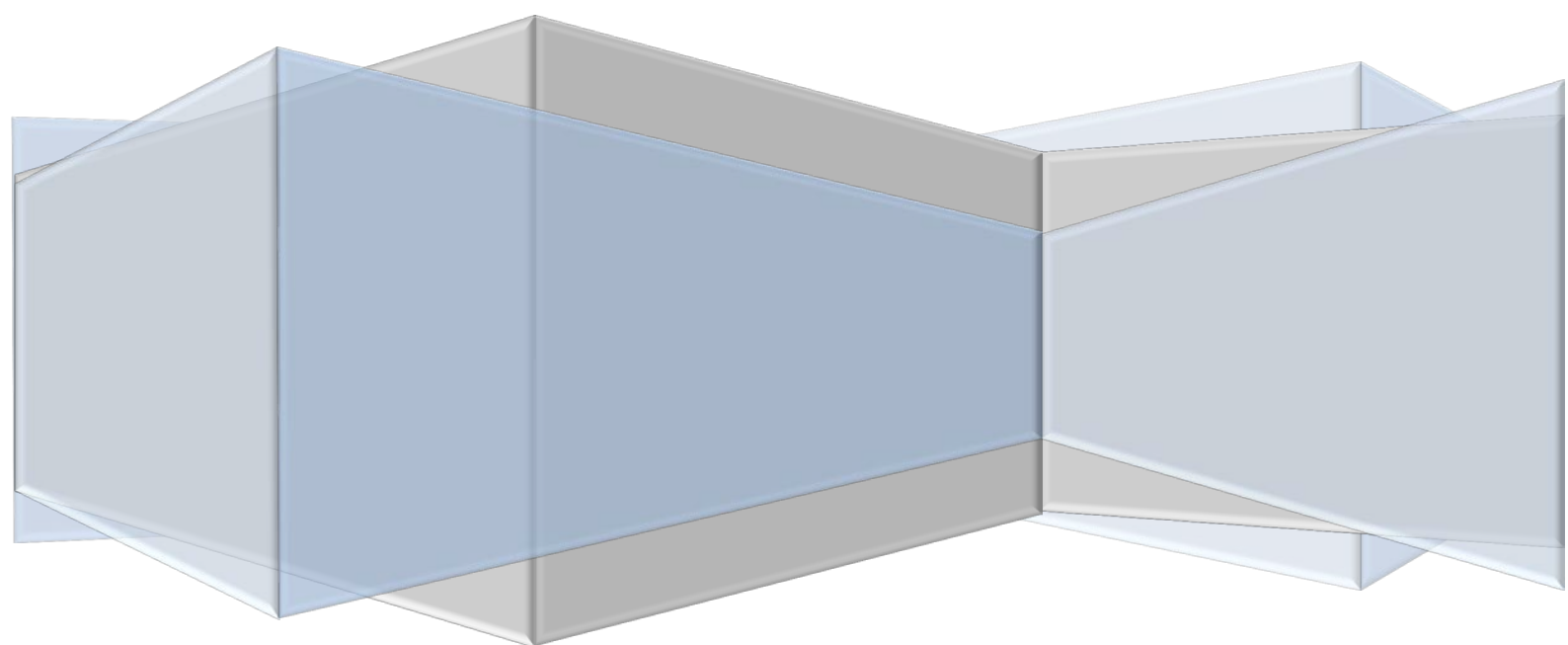


富山大学医療人教育室 2018年度報告書



医療人教育室報告書 2018年度

目次

室長ご挨拶

I 医療人教育室について

1. 教室概要
2. 室員紹介
3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室の設置に関する内規

II 各分野からの報告

新入生研修の中の「医療学入門」(2)	医学科教務委員長	一條 裕之
薬学部生の介護体験	薬学部教務委員長	矢倉 隆之
2018年度医療人教育室の活動について	看護学科教務委員長	長谷川 ともみ

III 2018年度活動報告

1. 医療人教育
2. 医療人教育室運営管理
 1. 医療人教育室運営会議
 2. 広報活動

IV 2019年度活動計画案

室長ご挨拶

富山大学杉谷キャンパスは、前身の「富山医科薬科大学」創立の理念「里仁為美」という「人に対する慈しむ心の教育」の伝統を、医学部・薬学部の強い連携により受け継いでいます。すなわち、「よき医療人を育成する」という両学部の共通理念から、医学・薬学・看護学を横断的に教育できる組織として医療人教育室が開設され、医学薬学教育部長が室長を兼任しております。

医療人教育室には5つのミッションが掲げられています。

- ①学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価及び支援、
- ②医学、薬学、看護学の共通教育の連携、
- ③医療人の教育及び研修機会の提供、
- ④医療及び福祉に係る教育資源の開発、維持及び充実、
- ⑤国際交流に関連した人材育成。

本年度から1年次生は教養教育一元化となり、月曜日から水曜日までは五福キャンパスで一般教養教育、木曜日と金曜日は杉谷キャンパスで専門教育を受ける体制が整いました。医療人教育室が担当する1年次の「医療学入門」は、例年どおり専門教育の一貫した授業内容で開講されており、富山医科薬科大学からの教育伝統が引き継がれています。一方で、医学、薬学は目覚ましい進歩を遂げています。地域医療のみならず、時代の流れを先取りした世界の保健・医療に貢献できる人材育成が杉谷キャンパスの使命であると考えております。今後とも、皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

室長 北島 勲

I 医療人教育室について

1. 教室概要

医療人教育室は、学部教育、医療学教育、医療人教育、国際交流連携などの学務業務を全般に補完し、保健医療分野の人材育成を目的に以下の業務を行っております。

1. 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価と支援に関する業務
2. 医学・薬学・看護学の共通教育に関連する業務
3. 医療人の教育・研修機会の提供に関する業務
4. 医療・福祉に係わる教育資源の開発、維持、充実にに関する業務
5. 国際交流に関連した人材育成に関する業務
6. その他医療人教育に関する業務

2. 室員紹介

室長	北島 勲	医学部長、臨床分子病態検査学教授(医学科)
副室長	廣川 慎一郎	南砺・地域医療支援学寄附講座客員教授(附属病院)
室員	松谷 裕二	薬学部副学部長、薬品製造学研究室教授(薬学部)
	一條 裕之	医学科教務委員長、解剖学教授(医学科)
	矢倉 隆之	薬学部教務委員長、分子合成化学研究室教授(薬学部)
	長谷川 ともみ	看護学科教務委員長、母性看護学教授(看護学科)
	安田 智美	成人看護学2教授(看護学科)
	石木 学	医師キャリアパス創造センター准教授(医学科)
オブザーバー		
	新井 健二	医薬系学務課長
	清水 由美子	医薬系総務課係長
事務補佐員		
	高井 美智子	

3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室に関する内規

(目的)

第1条 富山大学大学院医学薬学研究部(以下「研究部」という。)に、医学、薬学及び看護学の連携の基に医療分野の人材育成を体系的に進めるため、医療人教育の組織化を図ることを目的として、医療人教育室を置く。

(組織)

第2条 医療人教育室は、次の各号に掲げる室員をもって組織する。

(1)室長

(2)副室長

(3)研究部の教員 若干人

(4)その他室長が必要と認めた者

2 室長は、研究部の教員のうち、大学院医学薬学研究部長(以下「研究部長」という。)が指名する者をもって充てる。

3 副室長は、第1項第3号及び第4号の室員のうち、室長が指名する者をもって充てる。

4 第1項第3号及び第4号の室員は、大学院医学薬学研究部教授会(以下「教授会」という。)の意見を聴いて室長が推薦し、研究部長が委嘱するものとする。

(室員の任期)

第3条 第2条第1項の室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

(業務)

第4条 医療人教育室は、次の各号に掲げる業務を行う。

(1)学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価及び支援に関する業務

(2)医学、薬学及び看護学の共通教育の連携に関する業務

(3)医療人の教育及び研修機会の提供に関する業務

(4)医療及び福祉に係る教育資源の開発、維持及び充実にに関する業務

(5)国際交流に関連した人材育成に関する業務

(6)その他医療人教育に関する業務

(称号の付与)

第5条 室員に、次の各号に掲げる称号を付与することができる。

(1)医療人教育室教育教授

(2)医療人教育室教育准教授

(3)医療人教育室教育講師

(称号の付与手続)

第6条 称号の付与は、教授会の意見を聴いて室長が推薦し、研究部長が行う。

(称号付与基準)

第7条 各称号付与の基準は、次に掲げる者で医療人教育に優れた能力を有するものとする。

- (1)医療人教育室教育教授 10年以上の医療人教育の経験を有する者又は特に優れた医療人教育の経験を有する者
- (2)医療人教育室教育准教授 6年以上の医療人教育の経験を有する者
- (3)医療人教育室教育講師 4年以上の医療人教育の経験を有する者

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、医療人教育室に関し必要な事項は、教授会の意見を聴いて室長が別に定める。

附 記

この内規は、平成18年10月18日から実施する。

附 記

この内規は、平成19年4月1日から実施する。

附 記

この内規は、平成23年6月15日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年6月19日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年9月25日から実施する。

附 記

この内規は、平成26年3月19日から実施する。

附 記

1 この内規は、平成28年1月1日から実施する。

2 この内規実施後、最初に選出される室員の任期は、第3条の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。

Ⅱ 各分野からの報告

新入生研修の中の「医療学入門」(2)

医学科教務委員長 一條 裕之

医学部と薬学部を共にもつ大学はあまりないので、多くの大学は多職種連携教育に苦勞をしています。私達の大学はその点で大きなメリットを持っています。そのメリットを生かして草分けとなりましたが、それを発展させることが必要です。

医療学入門は医療系学部(医学部・薬学部)一年次の学生に共通の「専門科目」です。その中には二日間にわたって行われる新入生研修が含まれます。一日目の午前中に心肺蘇生法講習、午後に総合討論を行い、二日目の野外研修を行います。今年度は医学科と看護学科と薬学部の学生が、それぞれの方向から、中心にある1つの医療を見つめる機会を、専門教育の最初に行う仕掛けについての議論を行い、プロフェッショナルリズム教育の実質化の最初の一步として、総合討論を問題基盤型学修とする試みを行いました。そのために、まず医学と看護の教員が協力してシナリオを作成しました。学生には医療を行う者として、予期せぬトラブルに直面したときのことを考えて、その態度を議論してもらいました。大雪に巻き込まれたバスの中で他の乗客と一緒にどう過ごすか、といった様な具体的な状況を手がかりにして、その場に自分をおくものです。

当日の総合討論で、医薬看護の混成グループを作り、各グループにシナリオを渡して、議論の結果を皆の前で発表し、共有しました。入学して間もないバックグラウンドの異なる学生が同じ問題に取り組み、打ち解けた後に、野外研修を行うという、自然な流れを作る事ができ、良い試みが出来たように思います。実施後の教員の振り返りにおいては、上級生の参加による改良のアイデアがメンバーから寄せられ、ひとつずつ改良をすという手順が作られつつあることを心強く思い、手応えを感じています。

私達、医学・薬学・看護学の教員は、それぞれ異なった形態で、医療に関与しています。教育の場で学生に対面し、学問を共有するという点においても、医療とかわることに違いはないでしょう。学生達が近い将来に体験する、それぞれのものの見方と関わり方を感じ取る機会を準備できるように、実行していきたく思っています。

薬学部生の介護体験

薬学部教務委員長 矢倉 隆之

今年も1年次生が介護施設で体験実習した。お世話いただいた病院等の施設の方には心よりお礼申し上げます。特に薬学部（薬学科）の学生をご指導くださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

介護体験実習に際し、とても気になっていることがあった。「薬学部生は医学部（医学科、看護学科）生に比べ実習に対しての積極性に欠けているのではないか」という点だ。学生は薬剤師が医療に携わる職と知っていても、「医療人」とあるとの意識は低いのではないかと、危惧したからだ。それゆえ、薬学生の介護体験実習のレポートを興味深く読んだ。

彼らの多くは実習の半年前まで高校生であった。レポートでは、そんな若者らしい驚き、気づきが見られた。第一に施設利用者（患者）を目の当たりにしての驚き、第二に医療者を見ての驚き、そして、「生死」について特に「死」に対しての気づきである。

かなりの数の学生が、利用者（患者）を見て「驚き、すぐには体が動かなかった」と率直に述べていた。彼らの偽らざる本音であろう。彼らがこれまで接してきた高齢者は、祖父母くらいであり、60、70代がほとんどで、元気な方が多かったであろう。また、体の不自由な方を見たことがあっても、車いすを利用している方くらいであろうか。それが自分一人では食事ができない、排せつのお世話も必要、意思の疎通も困難、などなど、初めて目の当たりにするとショックを受けても仕方がないと（失礼を承知で）思う。

次に医療者の方に驚いたようだ。彼らの年齢ではまだまだ自己中心的で、自分の位置からの視点（目線）しか持っていないものである。それゆえ、利用者（患者）の方を見ると、無意識に見おろし、「かわいそう」や「～してあげる」といった感情になってしまうのも無理のないことである。しかし、彼らは医療者の方の言動から、医療者の立ち位置が利用者（患者）と同じ位置であることに気づき、その重要性に思い至ったようである。医療を知るとともに、プロフェッショナルとは何か、といったキャリア教育にもつながったようだ。

三つ目に「生と死」とくに「死」、「尊厳死」について考えたようだ。学生たちの年代からすると、まだまだ無縁であると思っただろうが、今後、ますます高齢化社会になっていくとき、どうしても避けて通れない問題であり、若くして、そこに目を向けるよい機会が得られたと思う。

介護体験を通して、学生は大きく成長したようです。医療施設のみなさまには大変すばらしい教育をいただきました。「教育とは待つことである」と言われますが、お忙しい中、まごまごしている学生たちをじっと見守り待っていただき、本当にありがとうございました。最後に病院実習を終えて戻ってきた5年次生のことばを紹介します。

「1年生の時は、薬学部の学生には介護実習は必要ないんじゃない？と思ったけど、病院に行ってみて、あの体験がとっても役に立った。やっておいてよかった。」

2018 年度医療人教育室の活動について

看護学科教務委員長 長谷川 ともみ

富山大学杉谷キャンパスでは、「よき医療人を育成」するという理念があります。理念を具現化するために、医学・薬学部長、各学部教務委員長、室員（事務部含む）の構成員からなる医療人教育室が、入学から卒業までの一貫した評価と支援、医学・薬学・看護学共通教育事業（共通授業や、介護体験実習）、医療人教育・研修会機会提供、医療・福祉に係わる教育資源開発、維持、充実、国際交流に関連した人材育成を教育目標として活動しています。

大学生活を開始する新入生にとって、入学当初の大学での履修、生活は大きな期待とともに、不安もつきものであると推察しております。入学から卒業までの一貫した評価と支援において、2018 年度は、従来の履修登録に加えて、本学での教養教育一元化に伴い、教養教育の講義を月曜から水曜までの期間にどのように履修するか、新入生にとっては、不明瞭な点もあり、1 年生クラス担任、学務職員、学部生のチューターも動員して、4 月の履修登録期間まで、教務としてできる限りの配慮をさせていただきました。また、前期開講科目について、履修が人数制限の関係上できなかった学生に対しては、後学期の履修につき、優先度を高くして、希望が叶うような配慮をしてみました。

医学・薬学・看護学共通教育事業（共通授業や、介護体験実習）においては、医学科、看護学科、薬学科、創薬学科の学生が同時に受講できる医療学を入学当初から開講し、将来チーム医療に携わる医療人としての素地が形成できるように、著名人の講義、演習、立山研修、早期介護体験実習（アーリー-エクスポージャー）が組み込まれています。単に、医学薬学看護学の知識を習得する講義形態ではなく、新入生が、講義・演習・実習を通して、良き医療人とはどのような資質を持ち、既存の知識をいかに活用して、医療チームを形成して有機的に活動することが必要であるかを入学当初の瑞々しい感性で考えて、主体的に活動し、何らかの「気づき」を得ていることが発表やレポートから読み取ることができます。中には、実習中どうしてよいかわからなかったなどの感想もありますし、実習施設からの学生の態度についてのコメントもありますが、それらの疑問や失敗は今後、展開される専門科目における学修、さらには就職後の職場環境においても少なからず、経験することであり、「気づき」の連続が彼らの主体的な学習を育み、時間をかけて医療人としての必要な能力を身に着けていってくれるものと期待しております。

また、この場をお借りして看護学科教務委員会の機能を簡単にご説明させていただきますが、看護学科教務委員会は各学年の委員より構成され、年間 15～16 回の会議を開催し、主としてカリキュラム、学生の学習進度、単位認定、特別な配慮のある学生等につき、報告、審議を行っております。各委員の教育経験を生かしながら、きめ細かい学習支援が遂行されるよう議事進行に努めている所存です。

関係の皆様には今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

Ⅲ 2018 年度活動報告

1. 医療人教育

医療人教育室では、医学・薬学・看護学の1年生が合同で学ぶ「医療学入門」授業のカリキュラムプランニングを担当しています。医・薬・看護の各領域の実務家教員による講義とともに、新入生医療学研修や心肺蘇生法講習、保健福祉医療施設における介護体験実習など、よき医療人としての基礎となる知識・体験が身につくようなカリキュラムとなるよう考慮致しました。

また、学生に対し授業についてのアンケートを実施し、来年度のカリキュラムの検討を行っております。

平成 30 年度 医療学入門授業内容

ユニット	内容	講師
1 医療学概論	医療学概論	酒井 秀紀(薬学部長)
	2030年のくらしと医療	北島 勲(医学部長)
	あったか地域の大家族	惣万 佳代子 (NPO法人デイサービスこのゆびとーまれ理事長)
	よき医療人とは	廣川 慎一郎 (医療人教育室副室長)
2 新入生医療学研修	新入生医療学研修オリエンテーション	新入生医療学研修実施検討タスクチーム、教務委員会
	新入生医療学研修	新入生医療学研修実施検討タスクチーム、教務委員会
	心肺蘇生講習	心肺蘇生講習タスクチーム、災害・救命センター、教務委員会
3 コミュニケーションとプロフェッショナリズム	医療と社会(医療人権)	山口 育子 (認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)
	コーチング法	石木 学 (医師キャリアパス創造センター准教授)
	医療倫理とプロフェッショナリズム	宮島 光志 (応用倫理学教授)
4 医療と社会	薬害再発防止のために	花井 十伍 (NPO法人ネットワーク医療と人権理事)
	難病支援と難病患者の思い	井沢 明子 (富山県難病相談・支援センター相談支援員)、患者様
	患者家族の思い	患者家族様
6 介護体験 実習	介護体験実習オリエンテーション	社会医学系講座
	介護体験実習	
	介護体験実習報告会	

2. 医療人教育室運営管理

1. 医療人教育室運営会議

月1回運営会議を開催し、以下の内容について討議を行いました。

平成30年度 医療人教育室運営会議内容

平成30年4月	H30年度医療人教育室室員について	11月	医療学入門におけるイタイイタイ病資料館の見学について
	H30年度医療学入門について		介護体験実習について
	新入生医療学研修タスクチーム構成員について		新入生医療学研修実施検討タスクチーム構成員について
	H30年度新入生医療学研修スケジュール(案)について		心肺蘇生講習タスクチーム構成員について
	平成30年度心肺蘇生講習について	12月	2018年度前期全科共通授業評価アンケート結果について
	医療人教育室2017年度報告書について		医療関係職種(養護)の養成施設におけるB型肝炎に関する教育の推進について
	平成30年度医療人教育室副室長の選任について		新入生医療学研修実施検討タスクチーム構成員について
	平成30年度医療人教育活動計画案について		2019年度医療学入門について
5月	H30年度医療人教育室室員について	平成31年1月	医療人教育室2018年度報告書について
	H30年度医療学入門について		新入生医療学研修実施検討タスクチーム構成員について
	H30年新入生医療学研修について		H31年度医療学入門に係わる打合せ会について
	医療人教育室ホームページについて		2019年度医療学入門について
7月	H30年度医療学研修アンケート集計結果について	2月	医療人教育室2018年度報告書について
	H30年度医療学入門について		医療人教育室予算について
	介護体験実習について		実務家教員の教育について
	H31年度新入生医療学研修実施要項(案)について		事務補佐員の募集について
	学生による授業評価アンケートについて		2019年度医療学入門について
8月	H30年度医療学入門アンケートについて	3月	医療学入門ポートフォリオ返却時期について
	H30年度医療学入門アンケート集計結果について		介護体験実習受入施設について
	介護体験実習事前アンケート集計結果について		H30年度介護体験実習アンケート集計結果
	H30年度医療学入門成績評価について		2019年度医療学入門について
	H31年度医療学入門について		H31年度医療学入門イタイイタイ病資料館の見学について
10月	介護体験実習について		H31年度医療人教育室室員の委嘱について
	H30年度医療学入門成績について		医療人教育室2018年度活動報告書について
	介護体験実習における実習費の取り扱いについて		医療学入門ポートフォリオ返却時期について
	2019年度医療学入門について		

2. 広報活動

HPによる広報活動を行いました。

医療人教育室2018年度報告書を作成しました。

IV 2019 年度活動計画案

1. 医療人教育

医療学入門の教科担当

- ・カリキュラムプランニング
- ・成績評価
- ・授業アンケート
- ・立山新入生合宿タスク支援
- ・心肺蘇生実習タスク支援
- ・早期介護体験実習タスク支援

2. 医療人教育室運営管理

1) 医療人教育室運営会議開催

2) 広報活動

- ・ホームページによる広報活動
- ・医療人教育室報告書の作成

